

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表（全体）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			活動ごとにエリアわけも出来ており、スペースも十分確保出来ている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3		ブレイルーム等児童が使用する場所の床面はフラットになっている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			事業所間で巡回を行う等、業務改善に取り組み共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			感染症対策や虐待防止に伴う研修を全職員参加で行い、事業所ごと定期的な勉強会、外部研修への参加も行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			保護者ニーズ票や計画書に伴う保護者面談、支援会議をもとに計画書作成をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	4		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			毎朝チームでミーティングを行い個別支援計画に沿った活動を立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			個別で行う活動、集団で行う活動及びその内容の偏りがないようチームで話し合いを行い取り組んでいる。

	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・平日はチームミーティングで決めた課題（主に個別活動）休日、長期休暇は集団活動を予告した上で設定している。 ・休日のみ児童に対し、個別活動を設定し、実行できるように準備している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個別支援計画の中に児童の特性、発達段階に合わせた個別活動、集団活動を心掛けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			<p>毎朝チームミーティングを行い児童毎の支援内容、職員の役割分担について確認しあっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の状況判断
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		学校での申し送り、自宅送迎時の保護者様との情報共有を合わせた形で支援の振り返りを必要時行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			記録を朝のチームミーティングで読み合わせ、支援の検証をしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			定期的なモニタリングの時には保護者様との面談を行えるようにし、計画書見直しにも反省できるようにしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	1		職員全員で読み合わせし、方デイの担う役割を共有している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			新年度には児童の担任の先生との情報共有や送迎の場所について連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5		該当の児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			

	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			行ってきた支援内容を含めた必要な情報を、移行支援資料にて引き継ぎしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	2	地域の公園等で一緒に遊ぶ機会となっていることもある。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			日頃は、送迎時に保護者様へ情報を共有している。また定期的なモニタリング時期の面談も共通理解の場となっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	5	1	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			保護者様の悩みや相談に適切に対応、助言できるよう必要に応じチームで話し合いも行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1		昨年度は「みかん狩り」今年度は「親子ボウリング」を開催し、保護者同士の交流の場となった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情及び苦情につながると考えられること含めた形でチーム共有し再発防止の対策を背で考えていけるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		月に1回通信「なないろ」の発行を行い活動や行事予定を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	3	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			地震、火災、不審者対応、保護者引き渡し訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			全員参加で虐待防止の研修が行われている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			毎年4月にアレルギー調査を行い、更新している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			ひやりはつとを全員で共有し再発防止の意識につなげている。